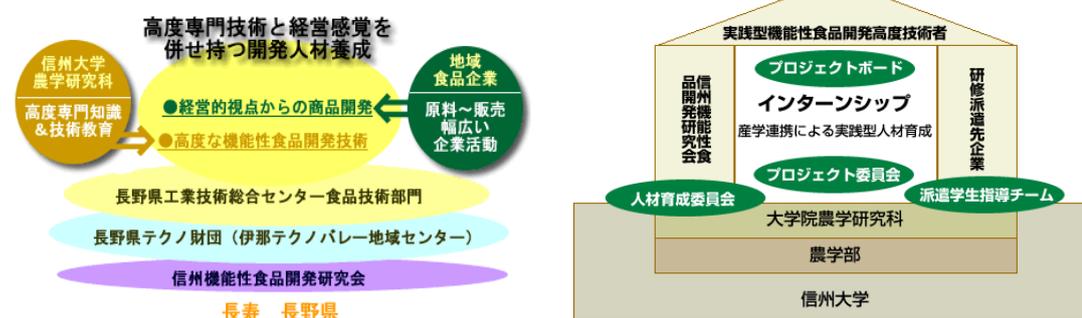


**産学連携による実践型人材育成事業 ー長期インターンシップ・プログラム開発ー
最終評価結果**

大 学 名	信州大学
プロジェクト名称	長寿長野を支える機能性食品の開発人材養成 ー地元企業と連携した高度専門技術と経営感覚の統合教育ー
事業責任者	農学研究科機能性食料開発学専攻 教授 南 峰夫

事業概要

本事業は、高度専門技術に加えて、健全な経営感覚と、国民の健康・長寿、食の安全について高い意識を持ち、機能性食品の開発を指導できる人材を育成することを目的としている。このため、地域の食材を活かした機能性食品製造企業が多く存在している長野県の特性を活かし、機能性食品の開発を学ぶ修士課程一年生を、地元の食品企業に長期インターンシップとして派遣し、企業活動全体を幅広く経験させることにより、目的の人材の育成を図るものである。



▲プロジェクト体系と推進体制

▶ インターンシップの流れとスケジュール



年・月	08/05	08/06	08/07	08/08	08/09	08/10	08/11	08/12	09/01	09/02	09/03
オリエンテーション	●										
事前教育											
企業事前ガイダンス				●							
指導チーム連絡会議				●							
企業実習											
ポートフォリオ・レポート作成											
指導チーム連絡会議											
事後教育											
報告書作成											
成果発表会											●

詳細については、<http://karamatsu.shinshu-u.ac.jp/gp/intern/index.html> を参照。

最終評価結果

(総合評価) A : 所期の計画と同等の取組が行われた

コメント

《優れた点》

- ・ 地元企業と大学が連携して「信州機能性食品開発研究会」という研究組織を形成し、地域の課題に密着し、その解決を教育の場とした点で个性的であり、他大学にも通じる普遍性も併せ持ったプログラムとして、評価できる。
- ・ プロジェクト委員会が全体をマネジメントし、個別指導チームがきめ細かくガイドする事前・事後教育を含めて、的確なインターンシップとなっていることや、評価システムの確立が工夫されている。
- ・ 企業に対しては商品開発企画提案書を提出し商品開発に結びついていること、また、大学に対しては教育改善提案書を出すなど、双方にメリットが得られ始めている点が優れている。
- ・ 本事業に参加した学生が、プログラムに関連する企業等に多く就職していることが評価できる。

《今後に期待する点》

- ・ 機能性食品分野においても、国内の健康志向や医療福祉のみならず、海外との競争力を高めるための人材育成も視野に入れてプログラムの継続と革新により一層努めてもらいたい。
- ・ どのような人材を育成したいのか、という具体的なイメージが湧いてくるよう、キャリア教育の視点から、人材育成目標をより明確にして欲しい。